

「生命のがん教育」を実施しました

(平成28年度3学期分)

平成28年度2学期は24校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(舞鶴市立大浦小学校)



(京田辺市立田辺中学校)



(京都府立農芸高等学校)

◎小学校 (8校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月30日(月)	宇治田原町立田原小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
1月31日(火)	向日市立向陽小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
2月10日(金)	長岡京市立長岡第五小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
2月14日(火)	舞鶴市立大浦小学校	5年	舞鶴医療センター 外科系診療部長 山下 哲郎
2月15日(水)	木津川市立城山台小学校	6年	京都府山城南保健所 所長 時田 和彦
2月17日(金)	京田辺市立田辺小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
3月7日(火)	宇治田原町立宇治田原小学校	6年	京都府山城北保健所 所長 大熊 誠太郎
3月14日(火)	亀岡市立城西小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也

<児童の感想>

☆ 「がん」は一度なったら治る人は少ないと思っていたけれど、今日の話を書いてあきらめないことが大切なのだと思います。

- ◇ 自分の知らないことや思い違いをしていたことが多くありました。自分だけでなく家族や身近な人が病気になってしまったときに不安にならないように病気のことについて調べていきたいです。勉強になりました。
- ◇ 今までは芸能人が「がん」になったというニュースを聞いたことがある程度だったので他人事だと思っていました。でも今日の授業を受けて身近な病気であることを知って怖くなりました。「がん」になりにくくする方法はあるので生活習慣を見直そうと思いました。

◎中学校（14校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月25日(水)	京都聖母学院中学校	2年	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 緩和ケア 部長 川上 明
2月17日(金)	宇治市立槇島中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
2月22日(水)	宇治田原町立維孝館中学校	2年	京都岡本記念病院 副院長 清水 義博
2月24日(金)	京田辺市立田辺中学校	2年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
3月3日(金)	木津川市立山城中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
3月3日(金)	京都市立北野中学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
3月8日(水)	城陽市立城陽中学校	3年	京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 特定准教授 三宅 秀彦
3月9日(木)	木津川市立泉川中学校	3年	京都山城総合医療センター 消化器外科 部長 糸川 嘉樹
3月9日(木)	宮津市立宮津中学校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 副院長 落合 登志哉
3月10日(金)	京都市立洛水中学校	3年	京都第二赤十時病院 外科医師 藤堂 桃子
3月10日(金)	八幡市立男山第二中学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
3月16日(木)	井手町立泉ヶ丘中学校	1年	京都府立医科大学 消化器内科 助教 榎村 敦詩
3月17日(金)	福知山市立日新中学校	2年	京都府中丹西保健所 所長 糸井 利幸
3月17日(金)	八幡市立男山第三中学校	2年	国立病院機構京都医療センター 腫瘍内科 診療科長 野崎 明

<生徒の感想>

- ◇ 早期発見のためには検診を受けることが大切だと思いました。テレビのドラマのイメージが強かったので「がん」になったら死んでしまうと思っていましたが、早期発見して治療をすれば助かる可能性が高いことが分かりました。
- ◇ 親が検診に行っているのを見ていましたが、その検診はこんなにも重要なことなのだと知りました。私もそ

ういった検診などをしっかり受けて早期発見できるようにしたいです。

- ◇ もしいつか、自分や周りの人達が「がん」になってしまったらと考えるだけでも悲しくなるし、辛くなりました。今という時間をもっと大切に生きていきたいと思いました。自分も相手のことももっと大事にしたいと思いました。
- ◇ 人はいつ、どんな原因で命を落としてしまうかもしれないので、生きていることに感謝していこうと思いました。
- ◇ 「生命のがん教育」を受けて一番印象に残ったことは、命を守ることの大切さです。「がん」は若いころからならないようにするためには、早めに「がん」を見つけることと、小さいころから生活習慣をしっかり整えることが大事だなどと思いました。あと、周りの支えてくれる家族や友人に感謝の気持ちを忘れてはいけないことを大切にしたいです。
- ◇ 今まではずごく他人事にしていたのですが、今回話を聞かせてもらって「がん」は身近なものであって、自分が大人になったらなる可能性もあるのだと改めて考えました。

◎高等学校（2校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月11日(水)	京都府立農芸高等学校	2年	公立南丹病院 副院長 山岡 延樹
2月22日(水)	京都府立綾部高等学校 東分校	1年	京都府中丹東保健所 所長 常盤 和明

<生徒の感想>

- ◇ 家族が「がん」で亡くなってしまったし、「がん」がどれほど体に悪い影響を及ぼすのかを目の前で見たこともあるので、「がん」の予防をしっかりしていきたいと思います。
- ◇ 死因で「がん」による病死がダントツで多く、「がん」は2人に1人の割合でなるというので、かかる可能性が最も高い病気だというのが分かりました。芸能人などテレビに出ている方が「がん」になって闘病生活を送っているのを見たりすると、自分も例外ではないのだと思って不安になりました。でも、「がん」は食生活や過ごし方でなりにくくなるので、規則正しい生活を心がけたいと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : kentai@pref.kyoto.lg.jp